令和２年度（第13回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

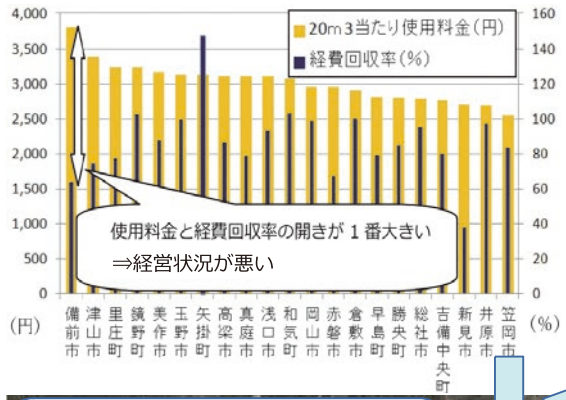
アセットマネジメント部門

地域との官（市）民（住民）連携で WIN-WIN ！
～協働改革で持続性確保～

岡山県備前市

危機的な事業の経営状況に気付き、整備計画の改革を決意しました。**地域との WIN-WIN** な関係で**協働の改革**を進め、大幅な**事業費削減と期間短縮**で事業の**持続性を確保**しました。

① 現状理解



② 地域と協働

③ 期間短縮

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
当初計画延長	900	1,000	2,000	2,500	4,000	4,000
改善後整備延長	1,060	2,970	4,400	5,000		
当初計画整備率	91	92	93.5	95	97.5	100
改善後整備率	91	93.5	96.5	100	100	100

④ 事業費削減

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
当初予定額	293	356	500	550	543	550	2,792
実整備費用	175	166	200	220			761

PR ポイント！

①危機的な経営状況に気付き改革を決意
↓
②削減額の一部を地域へ還元し、協働改革
↓
③**地域と「WIN-WIN」⇒ 信頼関係構築**
↓
④不可能だった農業用水移転や廃止の承諾
↓
⑤大幅な事業費の削減に成功！

取組の効果！

① 6 年間 28 億円の概成計画 ⇒ 4 年間 8 億円
↓
② 2 年の期間短縮と**約 20 億円の事業費削減**
↓
③削減事業費で道路や水路の**地域課題も解決**
↓
④地域との良好な**信頼関係**の構築
↓
⑤**持続性確保 ＋ 信頼関係は今後の財産！**

Key Person

下水道課　同前嘉浩
技術士（上下水道部門）

改革を決意してから３年間、改革に伴う膨大な作業量を抱えながら**地域を駆け回り、解決策を常に考えて**きました。事業費が高額となる要因の箇所に幾度も足を運び**地域と協議を重ねた結果**、振り返ると**大きな成果**になっていました。

近年は、企業との官民連携が注目されています。しかし、自治体**職員でも**地域との連携や協働で同様の**事業改革が可能**です。また、ここに**民間企業も加われば、さらに大きな効果**も期待できます。

今後の**事業継続**には、**他市も含めた統廃合が必要**と考えており、更なる改革のため新たな**連携を模索**しています。